

British Hills【ブリティッシュ・ヒルズ】英語研修 便り



一日目

期待と不安が入り混じる中、一行はBHに向けて出発した。サービスエリアでバスへの集合時間が英語で告げられると車内に緊張が走った。いよいよ研修の始まりだ。無事全員が時間までにバスに戻り最初のハードルをクリアした。車で走ること約5時間後、目の前にManor House が見えてきた。入国許可書に記入して、部屋の鍵をもらってチェックインが完了。Manor House 見学後、最初の授業である“Survival English for HS”を受講した。当初はぎこちなかった雰囲気も次第に和み始め、笑い声が聞こえるようになってきた。遅くになり霧が出てきてBHの夜は更けていった。



二日目

卵やソーセージの他にハッシュドポテトやベイクトビーンズなどのイギリスの朝食に出される料理を味わった。“Culture & Manners”では6か国のあいさつの仕方を勉強した。国が違えばあいさつも異なるということを改めて認識し、国際人への第一歩を踏み出した。その後の“English Language in Film”は映画「ハリー・ポッター」の場面を観て講師の質問に班対抗で答えるという内容で、映画の世界を堪能しつつ、メモを取りながら細部まで聞き取ろうとしていた。午後は英語で物の表現の仕方を学ぶ“Describing Things”を受講した。英語の形容詞に苦労しながら講師が白板に書く単語を仲間に伝えようと時にジェスチャーを交えながら熱心に取り組んでいた。見事に単語をあてると拍手が起こり、笑いの渦



があちらこちらで起こった。本日の最後の授業は”British Sports”。イギリスの代表的なスポーツであるクリケットとホッケーのルールについて講師が説明した後、ミニゲームを行い、心地よい汗を流した。晩御飯は昨日と同様に講師が同席し、食事をしながらの会話を楽しんだ。

三日目

最終日にはスコーン作りに挑戦した。Henry II Kitchen と名づけられた台所に集合して実習が始まった。台所用品や調味料など馴染みのない単語に戸惑いながらも皆で協力してスコーンを作りあげ、手作りのスコーンをみやげにもらった。すべての研修が終了した後、一人一人に修了証書が手渡された。

2泊3日の短い研修であったが、これをきっかけに英語に対する興味が深まり、英語でコミュニケーションを取る喜びを体感し、世界を広げていってもらえれば幸いである。

